

トリプケースソイブイオン (SCD ブイオン) (TSB-D)

For microbiological control only

TrypCase Soy broth (TSB-D)

栄養要求性の厳しくない微生物の分離

用途

トリプケースソイブイオンは、発育に際し特殊な要求性を示さない微生物(細菌、真菌)を増殖させるために使用します。

本培地はヨーロッパ薬局方、アメリカ薬局方および日本薬局方の国際調和事項に準拠しています(1,2,3)。

原理

本培地はペプトン混合物を含有しており、特殊な要求性を示さない微生物のほとんどは増殖が促進されます。

キット構成

粉末培地
REF 51019 500g

組成

理論値

性能を確保するため、若干変更される場合があります：

カゼインペプトン(ウシ).....	17g
ソイペプトン.....	3g
塩化ナトリウム.....	5g
リン酸二カリウム.....	2.5g
ブドウ糖.....	2.5g
精製水.....	1L

pH7.3

必要な器材

- オートクレーブ
- オートクレーブ可能な試験管
- オートクレーブ可能なボトル
- ふ卵機

使用上の注意

- 微生物試験にのみご使用下さい。
- 熟練者がご使用下さい。
- 本製品は動物由来の原料を含みます。由来に関する知識、由来動物の衛生状態は感染性のある病原体がないことを保証するものではありません。したがって、これらは潜在的に感染の可能性があるものとして、充分注意の上お取り扱い下さい(接種または吸入しないで下さい)。
- 全ての検体、培養物および検体を接種した製品は感染性があるものとして適切にお取り扱い下さい。被検菌の無菌操作および通常操作の留意事項は以下のガイドラインをご参照下さい。安全ガイドライン: CLSI/NCCLS M-29A, «Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections: Approved Guideline – Current Revision» 操作留意事項: Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories, CDC/NIH – Latest Edition、または各国の規制ガイドラインに従って下さい。

- 本培地を製造原料として使用しないで下さい。
- 使用期限切れの製品は使用しないで下さい。
- 均一でない(塊のある)培地は使用しないで下さい。
- 最初にご使用になる前に、ボトルキャップの開封防止シールに破損がないことをご確認下さい。
- ご使用後はキャップをしっかりしめて下さい。
- 湿度の高い環境下で培地を開封しないで下さい。
- 本培地は取扱説明書に記載されている操作方法に従って使用して下さい。操作方法を変更すると結果に影響を及ぼすことがあります。
- 培地中に死菌が存在することもあります。培地の性能に影響はありません。

貯蔵条件

- 2-30℃下で使用期限まで保管可能です。
- 乾燥した環境下に保管して下さい。
- ご使用後はキャップをしっかりしめて下さい。

検体

薬局方の国際調和事項に従って検体を調製して下さい。一般的に、サンプル量は 10mL もしくは 10g です。

使用法**培地の調製:**

- 本製品 30g に精製水 1L を加えます。
- よく攪拌します。
- 完全に溶解するまで加熱します。
- ボトルや試験管に分注します。
- オートクレーブで 120℃、15 分間加熱します。
- 培地を冷却してから使用します。

接種および培養:

薬局方の国際調和事項をご参照下さい。

E. coli、*Salmonella*、*P. aeruginosa* および *S. aureus* を検出する場合、至適温度は 35℃です。

品質管理

本培地は厳格な品質への要望を満たすよう開発・製造されています。

各ロットの品質管理における菌株試験結果は試験成績書に記載されています(ご要望により提供致します)。

薬局方の国際調和事項に従い管理します。

留意事項

- 発育の度合いは微生物各個体の要求性に左右されます。従って、特殊な要求性(栄養基質、温度、培養条件等)を有する菌株は発育しないこともあります。
- 本培地は製薬業界におけるろ過器の評価(培地充填試験)に用いる目的で開発されたものではありませんが、本粉末培地用の原料は厳選されたものであり、以下の過程を経ることによりろ過可能な培地となります。
 - 300m L 培地の非加熱製造工程
 - ポアサイズ 0.22 μm のセルローズエステルまたはフッ化ポリリニリデンフィルターによる加圧ろ過(1分以内)

製薬業界で採用されている方法は非常に多岐に渡るため、ロットごとに以下を確認されることをお勧めします：

- 調製・冷却後に粉末が完全に溶解していること。
60°Cに加熱するとろ過がしやすくなります。
- ろ過後、培地の性能は影響を受けないこと。

- 検体は多岐にわたるため、用途に応じてバリデーションされることをお勧めします。

廃棄処理

未使用の試薬は、有害化学物質廃棄物の処理手順に従って処分してください。

使用済み試薬および他の汚染廃棄物は全て、感染性もしくは感染の危険のある製品の取扱い方法に従って行ってください。起こりうる危険を適切に考慮の上、各検査室の責任の元、廃棄産物や流出物はそれぞれの危害毒性や度合いを考慮し、地域の適切な規制に従って廃棄してください。

参考文献

1. European Pharmacopoeia EP 7.
2. United States Pharmacopoeia USP 33.
3. Japanese Pharmacopoeia JP 15.

記号

記号	内容
	品番
	製造元
	保管温度
	使用期限
	ロット番号
	添付文書を参照
	湿気厳禁

(問い合わせ先)

製品関連

シスメックス株式会社 CSセンター

臨床(病院、臨床検査センターなど) TEL: 0120-265-034

産業(企業、保健所など) TEL: 0120-022-328

注文・納期・在庫関連

シスメックス・ビオメリュー株式会社

TEL: 03-6834-2669(代表)



シスメックス・ビオメリュー株式会社

東京都品川区大崎一丁目2番2号

大崎セントラルタワー8階

Tel: 03-6834-2666 / Fax: 03-6834-2667

<http://www.biomerieux.co.jp>



bioMérieux sa

69280 Marcy-l'Etoile/France

Tel.33(0)4 78 87 20 00 /

Fax33(0)4 78 87 20 90

<http://www.biomerieux.com>

